

カオジロトンボ

Leucorrinia dubia orientalis Ris

トンボ目 トンボ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

選定理由

白山連峰に生息し、分布西限にあたるが、産地が限られ、個体数も多くない。

形態

腹長20~25mm、後翅長25~30mm、顔面が白く、体は黒い。成熟オスの胸部には、暗赤色の紋がある。

国内分布

北方系の種で、北海道から本州中部地方の高層湿原に生息する。

県内分布

白山市尾口地区の小桜平付近、清浄ヶ原、加越国境の赤兎山や明谷川源頭付近（西限）。

生態

幼虫は寒冷地の池塘（ガキの田）に育ち、6月から羽化して、7月上~中旬（加越国境）から8月上~中旬（清浄ヶ原）に活動する。池塘の周辺の樹木の葉や地面に静止したり、水面上に飛来したりしている。

生息地の条件

植生の豊かな高層湿原の池塘。

生存の危機

登山道の建設や、温暖化によって池塘が消失する恐れがある。(D)

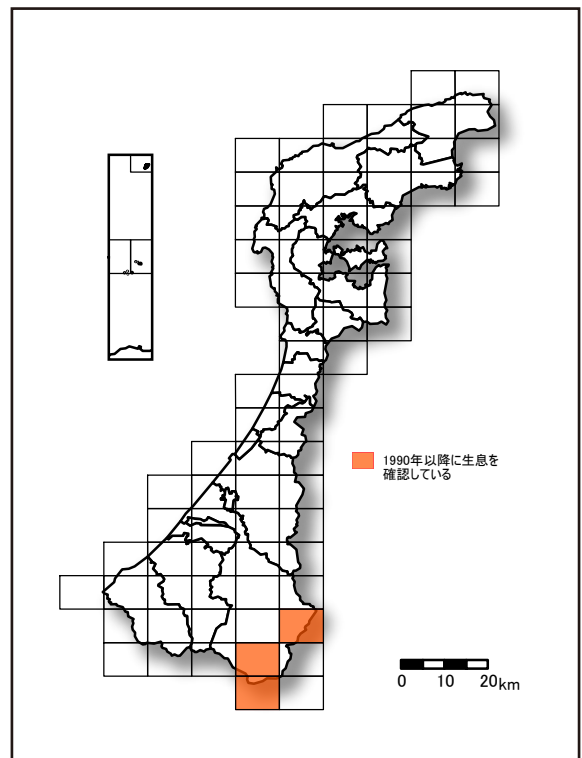
参考文献

武藤 明 2002. 2001年~2002年4月分の昆虫資料. とっくりばち, (69) : 8-11.

武藤 明 2004. 石川県のトンボに関する知見. とっくりばち, (72) : 1-4.



写真提供者: 白井伸和



県内の分布